

令和7年10月21日

報道関係者、地域広報関係者 各位

奈良文化財研究所

飛鳥資料館開館50周年・「奈良県飛鳥池遺跡出土品」重要文化財指定記念
令和7年度秋期特別展「古代技術の精華－飛鳥池工房－」開催のお知らせ

飛鳥資料館において、以下の特別展を開催しますので、周知のご協力をお願いいたします。

**飛鳥資料館開館50周年・「奈良県飛鳥池遺跡出土品」重要文化財指定記念
令和7年度秋期特別展「古代技術の精華－飛鳥池工房－」**

- 会 期 : 令和7(2025)年11月5日(水)～12月14日(日)
- 会 場 : 飛鳥資料館 特別展示室
- 開館時間 : 9:00～16:30(入館は16:00まで)
- 休 館 日 : 毎週月曜日(祝日と重なれば翌平日)
- 入 館 料 : 一般350円、大学生200円、70歳以上・高校生および18歳未満無料
障がい者とその付添者1名は無料
- 主 催 : 独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所 飛鳥資料館
- 後 援 : NHK、朝日新聞社、近畿日本鉄道株式会社
- 出 展 : 重要文化財「奈良県飛鳥池遺跡出土品」富本銭・鑄樟・鑄型、ガラス製品など



▲ 出土品集合

本令和7年(2025)は、奈良文化財研究所飛鳥資料館開館50周年にあたります。今年3月には、奈良文化財研究所が所蔵している「奈良県飛鳥池遺跡出土品」の重要文化財指定が決まり、50周年を迎える本年をより意義深いものとすることができました。

奈良文化財研究所は長年にわたり飛鳥地域での発掘調査に取り組んできました。そのなかでも、飛鳥池遺跡の調査は古代の巨大工房の実態を解明した特筆すべき成果です。飛鳥池遺跡の中心である工房では、7世紀後半を中心として金・銀・銅・鉄・ガラス・漆を用いた品々が生産されていました。発掘調査では膨大な量の金属製品・土器・瓦などの工房と関連する遺物や廃棄物がみつきり、木簡も多数出土しました。そして、ここでは宮殿などを飾った調度品や、実用の道具、祭祀具などの品々が製作されたほか、和同開珎をさかのぼる最古の鑄造貨幣である富本銭の生産も行われていたことが明らかとなりました。

本展覧会では、重要文化財指定品を多数展示してご紹介し、飛鳥池遺跡の工房の全貌と古代の技術に迫ります。本展覧会がみなさまと飛鳥池遺跡出土品の出会いの場となり、これからの飛鳥資料館の活動へとつながるきっかけになれば幸いです。

展示構成(予定)

プロローグ 飛鳥池遺跡の発掘調査

展示品: 地形模型、パネル

1. さまざまな工房

展示品: 各種工房遺物、土層はざとり

2. 富本銭と関連資料

展示品: 富本銭、鑄型、古銭譜

3. 木簡

展示品: 木簡 5点×3期 展示替え
エピローグ 古代技術の精華－飛鳥池工房－
展示品: パネル

◎関連講演会（事前申込不要）

第1回 11月15日（土）

「飛鳥池工房にみる古代ガラスの技術」

講師 谷澤亜里

（都城発掘調査部 考古第一研究室 研究員）

第2回 11月29日（土）

「飛鳥池遺跡と富本銭」

講師 石橋茂登

（飛鳥資料館 学芸室長）

会場：飛鳥資料館 講堂

開場・開演：両日とも午後1時開場、午後1時半

終了：午後2時半頃

※事前申し込みは不要です。

参加には観覧料が必要です。

◎ギャラリートーク（事前申込不要）

12月3日（水） 午後2時から

12月12日（金） 午後2時から

特別展示室にて

※事前の申し込みは不要です。

参加には観覧料が必要です。

◎奈良文化財研究所飛鳥資料館 開館50周年

記念式典

11月4日（火） 13時30分から

会場：飛鳥資料館ロビー、特別展示室

※参加は招待者・関係者に限ります。

取材は可能です。

	
富本銭と鑄棒	富本銭と鑄型・砥石など
	
金・銀製品	ガラス製品
	
木製様と鉄・銅製品	漆の道具

展示内容、展示品に関するお問い合わせ 飛鳥資料館 学芸室（担当：石橋、竹内）

TEL：0744-54-3561 E-mail：ishibashi-s6@nich.go.jp（石橋）

FAX：0744-54-3563 Takeuchi-s5e@nich.go.jp（竹内）

取材に関するお問い合わせ 総務課広報企画係（担当：白川、西村）

TEL：0742-30-6753 FAX：0742-30-6750 E-mail：koho_nabunken@nich.go.jp

※取材のお申し込みは、奈文研HPより取材申込書を取得・ご記入のうえ、E-mailをお送りください。